

2017年度 協力伝道週間

2018年1月28日(日)～2月4日(日)



*** 祈りをつなぐ協力伝道 ***
「やしない」「まじわり」「きょうりよく」



機関紙『バプテスト』誌第一号が1950年7月に発行されから67年が経ちました。メッセージ、Q&A、証し、全国各地から、理事会、宣教部、各委員会などからのニュースを、「やしない」「まじわり」「きょうりよく」の3本柱でお伝えします。誌面を通して、協力伝道の喜び、課題を分かち合ひましょう。「協力伝道カレンダー」を用いて祈りをつないでいきましょう！

※「協力伝道カレンダー」はホームページからもダウンロードして印刷することができます。

新任牧師・主事研修会
2018年2月26日～3月2日(連盟事務所)



2018年3月に神学校を卒業し、連盟加盟教会・伝道所に牧師や伝道師、主事等の教会スタッフとして赴任する予定の方や近年赴任されていて本研修会に未参加の方を対象にした研修会です。毎年この研修会を通して、それぞれの働きが始まってからも相互に励まし合い、研鑽し合う。出身神学校の枠を超えた同労者の交わりが生まれています。

神学校入学前研修会
2018年3月9日～10日(連盟事務所)



主から召命をいただいた者が、どのような祈りによって支えられ、どんな学びを期待されているのか共有するため、また、今後も祈り合う仲間となっていくため、神学校入学前研修会を実施します。2017年5月には献身キャンプを開催しました。献身を考えていきたいと祈りが与えられている方、神学校に進学することは明確ではない方も参加されました。

国外伝道、国際協力・交流



協力伝道の働きとして、国外伝道を共に担っています。インドネシアに野口日宇満・野口佳奈宣教師、カンボジアに嶋田和幸・嶋田薫宣教師を派遣しています。また、伊藤世里江アジア・ミッション・コーディネーター(シンガポール国際日本語教会牧師)をたて、アジア諸国のバプテストと協働をしています。佐々木和之国際ミッション・ボランティアの働きは13年目になりました。連盟は世界やアジア・太平洋のバプテストの群れに加盟しており、大会参加や災害支援を通して国際協力を行っています。

青年ミッショントリップin京都／伴走ひろばin東北



青年ミッショントリップ in京都 (9月16-18日)



伴走ひろばin東北 (11月3-4)

「青年ミッショントリップ」は青年期を生きる人たちが教会を訪問しながら、その教会の置かれている地域や教会自身が出会っている課題を共有し、共に考える旅です。2017年は京都教会・東九条を訪問しました。「伴走ひろば」は、どの年齢層の人も、教会全体が互いに育まれていく存在である、という認識に立って、互いの声を聞くことからはじめよう、と呼びかけています。今年は仙台の南光台教会で開催しました。

少年少女・隣人に出会う旅



隔年で開催される隣人に出会う旅。2017年度は旭川、韓国、沖縄、北九州の四つの旅が行われ、31教会49名の少年少女が参加しました。隣人に出会う旅は、参加する少年少女だけでなく、旅の事前・事後と一緒に学習してくれる教会のリーダーも旅のテーマに出会うことができます。教会全体で学習会をしてひとりの少年少女を送り出してくれた教会もあります。来年8月開催予定の全国少年少女大会で旅の証しや報告を聞きます。

地方連合と協働する教会学校研修会
2017年10月(東京連合)、2018年1月(神奈川連合)



教会教育室では、2017年7月に『教会学校ブックレット2017』(200円)を発行。個別教会や連合単位での教会学校研修会で用いられることを願っています。今年度は東京、神奈川の地方連合教育委員と協力しました。研修会では、教会学校の現状を聞きあひながら、礼拝と教会学校の関わり、共にみ言葉と対話すること、限られている中でどの様に知恵を出し合い工夫しているのかなど、課題やその中からいただく恵みを分かち合いました。

奏楽講習会

「2つ3つの教会が集まって講習会をしませんか？」



持続可能な講習会として、地元や近隣の講師を紹介し、連盟からの一部補助と参加費で開催できるプランを提案しています。奏楽者講習のほか、『新生讃美歌』、聖歌隊、会衆賛美、礼拝音楽と様々なニードに応じて計画し、ご相談ください。毎回、喜びと励ましを受けたとの報告が寄せられています。

2018年度には、全国で「協力伝道会議」を実施します
これからの協力伝道の在り方を、みんなで考え合ひていきましょう

協力伝道献金目標額 1億4500万円